

## 令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

### (事業の概況)

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下、当センターの運営においても前年度に引き続き、事業の一部中止や事業内容の大幅な見直し等を余儀なくされた1年であった。例年多くの行楽客で賑わうゴールデンウィークや夏休み期間、入場者数は前年こそ上回ったもののコロナ前の水準に戻ることはなく、国による9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降も好転する動きは見られなかった。

こうした状況の中、新型コロナの影響による経営の悪化を招くことがないように、盛岡市から、新型コロナウイルス感染症等に係る固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例措置の適用を受けるとともに、運営資金の確保に留意し、センターの安定運営と事業の継続に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策に万全を期しながら、盛岡広域8市町や関係団体等と連携し、地場製品の紹介と普及啓発、体験学習、資料展示等の事業に取り組む一方、施設の賃貸、地域外商品やアロニア関連商品の販売、各種地場製品の普及宣伝、体験学習を通じたキャリア教育、人材育成事業等を実施した。

主な事業としては、東京・沖縄の「盛岡デー」への出展、盛岡市の委託事業による青山スクエア・いわて銀河プラザ「盛岡の伝統工芸品展」の開催、札幌東急百貨店や熊谷八木橋百貨店における「みちのく盛岡の名品と観光展」出展等、各種物産展への参加のほか、昨年引き続き盛岡市の緊急経済対策により実施した、県外に進学した学生に地元特産品の詰め合わせを送付する「もりおかエール便」が好評を博し、8月10日から9月6日までの期間、盛岡市の経済対策事業である「特産品消費拡大支援事業」(商品30パーセント割引キャンペーン)を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けた地域経済の回復と業界の振興に取り組んだ。また、10月以降に集中した県内外の小・中学校の修学旅行について、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら受入れを行い、工芸品などの手づくり体験を通して、ものをつくる喜びや楽しみ、感動を体感してもらい、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解を深めていただいた。

令和3年度において、入場者数は対前年比104.0%となる約16万2千人、展示即売室の売上額は同84.6%となる約1億3,688万円にとどまったが、体験学習扱売上額は対前年比111.4%の2,691万円に達した。しかしながら、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の道筋は見えず、地域経済と地場産業にとって厳しい局面が続いている。

### 1 地場産業振興事業（公益目的事業）

公益目的事業として、地場産業の振興と人材の育成に資するため、地場製品の紹介と普及啓発、手づくり教室体験、盛岡地域の地場産業への理解と共感を深める展示資料室の運営、手づくり産業の後継者が行う新商品開発や市場開拓の支援等に取り組んだ。

#### (1) 地場製品紹介普及啓発事業

本事業は、盛岡広域で生産される国指定伝統的工芸品をはじめ各種工芸品、食品等の地場産品を国内外の消費者に紹介し、普及啓発を図ることを目的とする。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、一般・団体旅行の縮小、国内や海外からの旅行者数の激減、物産展等の中止により、大幅な事業内容の見直しを余儀なくされた。

このような入場者の状況による店舗の対面販売が伸び悩む中、社会的なステイホームの動きに応じ、オンラインショップを改修し、インターネット環境による購買需要に対

応した。また、盛岡市の経済対策事業である「もりおかエール便事業」「特産品消費拡大支援事業」を通じて、地場製品の宣伝・販売を実施した。

#### ア 展示即売事業

- ・展示即売室に「盛岡広域ベストセレクション」コーナーを設置し、盛岡広域8市町の新商品や食品、工芸品の紹介を行い、地域商品の宣伝を行った。
- ・展示即売室ポスシステムの情報を活用し、出店事業者に対し、月毎の販売状況の概要と分析、販売計画等の情報提供を行った。
- ・ギフトシーズンの6月と12月に、贈答品として需要が高い地場製品を取り揃え、即売室にギフトコーナーを設置するとともに、カタログを作成した。また、盛岡手づくり村のホームページにギフトカタログを掲載し、来店しなくても商品を購入できる仕組みを整え、地場製品の普及、宣伝に努めた。
- ・ロビー空間を活用し、岩谷堂筆筒の入札会を4月と5月と8月に実施、1月に福筆筒販売を行い、岩手の伝統的工芸品を紹介宣伝した。
- ・盛岡市観光課の事業で当センターロビーに設置された電子掲示板を活用し、来場者に対して、盛岡地域の観光・物産を紹介宣伝した。
- ・展示即売室に「修学旅行お土産コーナー」を設置したほか、事前に「修学旅行お土産最適品リスト」を配布し、岩手の特産品を周知した。その他、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、スムーズな買物ができるよう対応を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症により試飲や試食販売が困難であったため、商品の品質や特徴をPOPや商品説明の掲示で説明し、展示商品の魅力を実感してもらいながら買物ができる環境づくりに努めた。
- ・マルシェ直営ショップにおいて、旬の商品をメニューに取り入れ、紹介した。
- ・新型コロナウイルス感染症防止策として、展示即売室とマルシェのレジ周りに飛散防止フィルムを設置するとともに、店内や買物かごの消毒を適宜行うなど衛生管理に留意し、安心して買物を楽しめるよう取り組んだ。
- ・盛岡市の委託事業「もりおかエール便事業」では、盛岡市出身の若い年代層に地域特産品の魅力を改めて実感してもらえるよう、商品提案を行った。
- ・盛岡市の委託事業「特産品消費拡大支援事業」（商品30パーセント割引キャンペーン）では、新商品の開拓を行い、地場製品の振興に努めた。盛岡市の文化・魅力を広く全国にPRできるよう、また新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため、キャンペーン商品カタログをホームページに掲載し、インターネットショップ上でも事業を展開し、盛岡市の商品情報を広く発信するよう努めた。

#### イ 物産展・展示会への出展

##### <全国センター等>

- 4月29日～5月5日 「燕三条地場産業振興センター」 県外委託販売
- 8月 「燕三条地場産業振興センター」 県外委託販売
- 11月6日～7日 「今治地域地場産業振興センター」 県外委託販売
- 11月13日 「山口・防府地域工芸・地場産業振興センター」 県外委託販売

##### <県内>

- 中止（9月17日～20日）「もりおか味と工芸展2021」（川徳）
- 11月13日～12月20日 「盛岡りんごフェア」出展（前潟イオン）

##### <県外>

- 7月2日～6日 「盛岡デー・イン・東京2021」出展（イオン板橋）
- 11月11日～15日 「盛岡デー・イン・沖縄」出展（イオン琉球）
- 1月11日～13日 「盛岡の伝統工芸品展2022」出展（いわて銀河プラザ）

- 1月13日～18日 「みちのく盛岡の名品と観光展」出展（さっぽろ東急）  
中止（1月19日～25日） 「秋田と岩手の観光と物産展モリハチ祭り」（東京都庁）  
2月23日～28日 「みちのく盛岡の名品と観光展」出展（熊谷八木橋百貨店）  
3月10日～14日 「にぎわい東北」出展（イオン板橋）  
3月11日～17日 「盛岡の伝統工芸品展2022」出展（青山スクエア）

<常設展示>

- 4月～3月 「イオン盛岡・もりおかん」常設委託販売  
4月～3月 「もりおか歴史文化館」常設委託販売  
4月～3月 「もりおか啄木・賢治青春館」常設委託販売  
4月～3月 「つなぎ温泉観光協会」常設委託販売  
4月～3月 「らら・いわて」常設委託販売

<ギフトカタログ>

- 6月～8月 「盛岡手づくり村・夏ギフト」  
8月～9月 「盛岡手づくり村 特産品消費拡大支援ギフトカタログ」  
11月～12月 「盛岡手づくり村・冬ギフト」

<ふるさと納税謝礼品>

- 4月～3月 45件受注

<イベントスペース>

- 4月～5月 新生活応援フェア・修学旅行お土産コーナー  
6月～8月 夏ギフトコーナー  
8月～9月 特産品消費拡大支援ギフトコーナー  
10月～11月 修学旅行 お土産コーナー  
11月～1月 冬ギフトコーナー  
3月 春の卒業・新生活応援フェア

<ロビー>

- 4月、5月、8月、1月 岩谷堂箆筒入礼会（1月は販売会を実施）

<マルシェ>

- 盛岡広域8市町コーナー設置  
マルシェギャラリー

ウ インターネット（楽天市場「盛岡手づくり村オンラインショップ」）

- 期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日  
内容：食品・工芸品等 約500アイテム出品

## (2) 体験学習事業

全国から盛岡手づくり村を訪れる来場者を対象に、「体験学習」を実施した。伝統の技や製作工程を間近に見て、触れて、体験できるのは、盛岡手づくり村の最も優れた魅力であり、工房の職人の技を生かし、工芸品などの手づくり体験を通して、ものをつくる喜びや楽しみ、感動を体感してもらい、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解を深めた。新型コロナウイルス感染症の影響による目的地の変更で、令和2年度に初めて当施設を訪れた修学旅行団体を対象に再訪のアプローチを行い、令和3年度においても手づくり教室の体験者数を増やし、更に次年度につながるよう効果的な対応を行った。

陶器、藍染、竹細工、わら細工、木工、はたおり、こけし絵付、陶器絵付、  
木の実細工、冷麺

- ・体験学習の動向把握と、誘客宣伝活動として、旅行代理店や学校等を対象に県が毎年主催する札幌、函館、東京等での教育旅行誘致説明会は新型コロナウイルス感染症拡

大防止のためすべて中止となった。

- ・修学旅行の事前調査に来村する学校、団体等に対して、これまでの実績や十分な情報を提供し、来村者の確保に努めた。
- ・毎年夏休み、冬休みに盛岡広域圏内の小学校を対象に実施していた「特別体験教室」は、新型コロナウイルス感染症防止対策により中止とした。
- ・お正月フェアにおいて展示即売室の催事コーナーを利用し、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、繭細工の特別体験教室を開催した。

### (3) 展示資料室運営事業

盛岡地域の地場産業に対する理解を深めてもらうことと地場産業の振興・発展を目的に、全国から訪れる来場者に対して、歴史や製造工程、製作者等を資料やパネルで紹介したほか、伝統的工芸品の展示を行った。また、広域8市町と連携しながら広域の地場産品の紹介を行った。

- ・地場産品の歴史や生産技術、生産工程、施設内工房の紹介を通して、盛岡広域圏内の地場産品の普及宣伝を図った。
- ・盛岡広域市町・組合業者との連携から、一部展示品の入替を行い、地場産品の紹介・PRを行った。

## 2 人材育成事業（公益目的事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図り、地場産業の活性化と振興に努めた。

- ・盛岡手づくり村ホームページ上で、手づくり産業の後継者等で構成する岩手山麓工芸工房の紹介を継続し、令和3年度においては2件の工房の追加掲載及び14件の工房の掲載内容の更新を行った。
- ・盛岡市が制作した「歩いて 紡いで もりおか物語」のダイジェスト版「ものづくり編」を令和2年度盛岡手づくり村ホームページ上でバナーを作り広く紹介を行ったが、令和3年度もこの紹介を継続し、盛岡のものづくり事業者のPRを行った。
- ・ものづくり産業への理解とキャリア教育の推進に向けて、協同組合盛岡手づくり村や南部鉄器協同組合と連携し、盛岡広域内小学校10校、中学校1校への社会科見学の対応を行った。

## 3 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合、自動販売機業者と契約を締結し、センター運営に必要な収益の一部とした。

- ・南部鉄器協同組合への貸し付け（事務所、倉庫）
- ・自動販売機業者への貸し付け（みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、カイジョー株式会社）

## 4 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設け、収益性の高い商品やアロニア関連商品の販売を行い、収益の拡大を図った。

### (1) 盛岡手づくり村「マルシェ」の運営

- ・マルシェにおいて、業界関係者の新商品の普及宣伝、広域市町の特産品の普及宣伝などを実施した。また、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじえら？」や「アロニア商品」を活用した新メニューを考案し、普及宣伝に取り組んだ。

- ・マルシェ内に陶芸作家の作品の展示スペースを設け、地域の工芸品の紹介宣伝を行った。また、作家の作品や展示即売室で購入可能な食品・工芸品を使用し、コーヒー等の提供を行った。
- ・盛岡広域で作られる清酒や地ビール等と合わせ、地場産品の「おつまみセット」を展示販売し、購買意欲の向上につながるよう工夫した。
- ・即売室と連携して、話題の商品や新商品をマルシェメニューに取り入れ、販売に結び付くよう工夫した。
- ・期間限定メニューとして、鉄瓶で入れたコーヒーの提供を行い、地場産業の振興とPRに努めた。

## (2) アロニア関連商品の開発・販売

アロニア製品のラベルデザインの変更やアロニアドリンクのBOXを作成し、ブランドイメージの普及につなげた。オンラインショップのメルマガを活用し、人気商品のアロニアサプリメントの販促活動を行った。

また、砂子沢のアロニア農場の取材内容を「盛岡手づくり村オンラインショップ(楽天市場)」に掲載し、アロニアの認知・普及につなげた。

- ・アロニア製品の製造販売(盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじえら?」アロニア味、アロニアジャム、アロニアサプリメント、アロニアストレート果汁、アロニアサイダー、アロニアカレー、冷凍アロニア等)
- ・ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」に、アロニアオリジナルセットを掲載し、普及宣伝に努めた。

## (3) 盛岡手づくり村 オリジナル商品の考案・販売

- ・地場産業や文化の振興のため、盛岡の特産品イラストのTシャツ、エプロン、マスキングテープを作成し、地場産品と一緒に展示・販売した。

## 5 共用施設維持管理事業(その他の事業)

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者が共有する施設の維持管理を行った。

## 6 南部曲り家地場産品普及宣伝事業(その他の事業)

本事業は、国内外から訪れる観光客に対し、地場産業や地域文化への理解を深めることを目的に工芸品の製作実演や工芸品展示会等を行うものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止としたが、南部曲り家を体験学習の会場として活用し、地場産業の歴史や民工芸品の宣伝紹介を行った。

## 7 地場産業普及啓発事業(その他の事業)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急経済対策等で実施された盛岡市の次の委託事業を受託した。

### ・もりおかエール便事業

移動自粛の影響により帰省できない盛岡市出身の県外進学者に、盛岡三大麺等の特産品を詰め合わせた「もりおかエール便」(5,000円相当)を無料で発送する事業を実施した。(商品代と送料等は盛岡市負担)

受付実施期間 令和3年6月7日～令和3年7月17日

申込数 1,500個(先着順)

### ・特産品消費拡大支援事業

市内で生産・加工される特産品等の売上の向上に向けて、地場産業振興センター展示即売室とインターネットショップ、ギフトカタログで取り扱う全商品を30パーセント割引で販売した。(割引分の原資等は盛岡市負担)

実施期間 令和3年8月10日～令和3年9月6日

売上額 約33,333千円

・盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業

伝統的工芸品等を展示販売する施設に盛岡広域の工芸品を出展し、事業者の商品力の向上や販路の拡大を図った。

(1) いわて銀河プラザ「盛岡の伝統工芸品展2022」(出展：16事業所)

実施期間 令和4年1月11日(火)～13日(木)

(2) 伝統工芸青山スクエア「盛岡の伝統工芸品展2022」(出展：17事業所)

実施期間 令和4年3月11日(金)～17日(木)

## 8 交流促進事業(その他の事業)

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に開催を予定した季節イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小による開催や中止とした。

- ・盛岡手づくり村ゴールデンウィーク特別企画(4月29日～5月5日): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「春まつり」の規模を縮小して開催(キッチンカーの出店、彫金実演、彫金体験、岩谷堂箆筒入札会等)
- ・盛岡手づくり村夏まつり2021(8月13日～15日): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(キッチンカー2業者)
- ・盛岡手づくり村秋まつり2021(10月9日～11日): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・盛岡手づくり村お正月フェア(1月4日～11日): 福引大会(4・5日)、福箆筒販売会、期間限定特別手づくり体験教室等
- ・盛岡手づくり村冬まつり2022(2月11日～13日): 「いわて雪まつり」中止のため中止

## 9 管理運営事業(法人会計事業)

当振興センターは、盛岡地域の地場産業振興と観光の拠点施設として、国内外等からの来場者に利用されているが、令和3年度は例年同様に施設の環境整備や施設維持管理等を行ったほか、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、来場者や職員の感染防止に努めた。その他、盛岡広域の地場産業や観光に関する情報共有を目的に、盛岡広域8市町の担当課長で組織する広域活性化懇談会を開催し、情報交換を図った。さらに周辺施設との連携による誘客促進や旅行代理店向けの広告宣伝等を行った。

### (1) 振興センター入場者への宣伝・紹介

- ・入場者等への案内、説明、誘致宣伝活動
- ・観光客、視察来訪客への案内、説明
- ・パンフレットの配付
- ・旅行代理店との提携による来場者の誘致、パンフレット送付等
- ・電子掲示板を活用した観光、物産、施設等の紹介
- ・マスメディア利用による宣伝、普及活動
- ・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等への広告、情報提供、取材協力

### (2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	会議名	会場	内容
令和3年6月3日	第1回理事会	盛岡市役所	令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度補正予算、定時評議員会の開催ほか
令和3年6月23日	第1回評議員会	地場産業振興センター	令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度補正予算、理事・評議員の選任ほか
令和3年6月24日	臨時理事会	書面表決	専務理事の選定
令和4年3月16日	第2回理事会	書面表決	令和3年度補正予算、令和4年度事業計画・収支予算、定時評議員会の開催ほか
令和4年3月24日	第2回評議員会	書面表決	令和3年度補正予算、令和4年度事業計画・収支予算、理事の選任ほか

### (3) 職員研修の実施

- ・新採用契約労働者職員研修 5月・10月
- ・酒類販売管理研修参加 11月
- ・源泉所得税事務研修会参加 11月
- ・食品衛生責任者養成講習会参加 2月

### (4) 盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会の実施

盛岡広域8市町の広域経済の活性化を図ることを目的に、広域市町の課長で組織する盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会を令和4年2月16日、当センターで開催し、情報の共有と意見交換を行った。

### (5) 盛岡広域内の情報提供の実施

玄関ロビーに設置した「盛岡広域インフォメーション」を活用し、来場者に対して盛岡広域8市町の観光行事等を紹介した。(通年)

### (6) 電子掲示板による紹介

盛岡市に寄贈され、当センターロビーに設置された電子掲示板を活用し、盛岡地域の観光・物産情報や盛岡手づくり村の紹介宣伝に加え、コロナウイルス感染症対策の告知等を行った。

### (7) 施設内の環境整備

- 4月 一斉清掃、春のプランター整備
- 9月 秋のプランター整備

### (8) パブリシティ

<新聞、雑誌等>

- 1月5日(水) 盛岡タイムス「繭細工など体験も 10日までお正月フェア」
- 1月31日(月) 岩手日報「特産品販路支援が成果 県内市町村のコロナ禍経済対策」

<テレビ等>

- 4月7日(水) ごきげんテレビ クイズ
- 4月20日(火) ごきげんテレビ クイズ
- 5月7日(金) ごきげんテレビ クイズ
- 10月29日(金) ラヂオもりおか ウィークリーもりおか

「盛岡手づくり村の体験教室～ホームスパンで手織り体験教室～」

1月6日（木）NHKニュース「盛岡手づくり村お正月フェア」

1月6日（木）テレビ岩手ニュース「盛岡手づくり村お正月フェア」

1月21日（金）テレビ岩手 5きげんテレビ「中島アナ ホームスパンに挑戦」

**(9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組**

- ・館内各所へのアルコール消毒液の配置
- ・マスク着用とソーシャルディスタンス確保の呼びかけ
- ・手指消毒用アルコール・販売用使い捨てマスクの確保
- ・飛沫防止シールドの設置、マスク着用を呼びかける館内放送案内
- ・岩手県発行の修学旅行用新型コロナウイルス感染防止ガイドに基づく修学旅行受入準備
- ・自動検温センサー1台、手動式検温器3台、室内換気用大型扇風機3台、レジ・カウンター用飛沫防止シールド3台の設置